

イベントカレンダー

お問合せ・お申込みは TIFA 事務局
Tel. 06-6840-1014 まで

日本語指導者養成講座

日時: 毎週月曜日 10:00~12:00
場所: グローバルとよなか
外国人対象。子ども連れでも参加できます

サンデーバザー

日時: 毎月第3日曜 10:00~12:00
場所: グローバルとよなか
衣類、アクセサリー、日用品等が出ます

多文化子育てサロン

日時: 毎月第1・3木曜 10:00~12:00
場所: とよなか国際交流センター等
外国人親子の交流・情報交換の場です
(日時や場所はお問い合わせください)

環境井戸端会議

日時: 毎月第3日曜 12:30~14:00
場所: グローバルとよなか
地球規模の環境問題を学び、今私たちに
できることを考えましょう

グローバルサロン「アジアを旅して~
消えゆく文化の現状」

日時: 6月6日(日) 14:00~16:00
場所: とよなか国際交流センター
お話し: 湯浅浩和さん(TIFA 会員・写真家)

TIFA セミナー ネパール現地報告と講演

日時: 6月12日(土) 14:00~16:00
場所: すてつぷ(男女共同参画推進センター)
お話し: 南真木人さん(国立民族学博物館教授)、
TIFA ネパールプロジェクトメンバー

お知らせ

**国際交流・国際協力のための
コミュニケーション教室(英語) 会員募集中!**
なごやかな雰囲気の中で楽しくコミュニケーション力
をつけましょう。

- レッツ・コミュニケート(初級) 毎週火曜日 10:50~12:00
 - 元気の出る英会話(初級) 毎週木曜日 9:30~10:40
(中級についてはお問合せください)
- 場所はとよなか国際交流センターにて
入会金 2000円 月会費 5000円(4回)
体験ご希望の方は事務局まで。



予告

第4回 TIFA 国際子どもキャンプ(小・中学生対象)

8月23日(月)~25日(水) 豊中市立青少年自然の家(能勢町)にて実施します。申込み受付は6月下旬に開始予定です。

発行: 特定非営利活動法人
国際交流の会とよなか (TIFA)

TIFA (国際交流の会とよなか)は、豊中市にて1985年11月に
発足しました。メンバーと地域に住む外国人が協力し、言葉や
文化、国籍が異なる人たちがともに生きやすい社会の実現を目指
して活動しています。

事務局 〒560-0022 大阪府豊中市北桜塚 4-7-17-109
Tel/Fax: 06-6840-1014 E-mail: tifa99@nifty.ne.jp
お問合せ、お申込みは 月~金曜 09:30~17:00
ホームページ: <http://homepage1.nifty.com/tifa/>

最新のイベント情報はホームページをご覧ください

TIFA 会員を募集しています

- 正会員(活動会員)
入会金 2000円 年会費 6000円(月500円)
TIFA で実際に活動を行う会員です。何かやってみ
たい方はぜひ!
- 賛助会員 年会費 一口 3000円
TIFA の活動を資金面で継続的に支援していただく
会員です。ニュースレター等をお送りします。
- 寄付…金額は自由。活動のために大切に使用せ
ていただきます。

くわしくは TIFA 事務局にお問合せください。



ネパールの子どもたちへの
教育支援にご協力を!



TIFA ネパールプロジェクトでは、ネパ
ール出身のメンバーとともに、ネパ
ールの貧しい子どもたちの教育支援を
行っています。後援会の皆さまからの
会費や寄付金は、奨学金や養育費と
して大切に使用させていただきます。息
の長い支援を続けるために、ご協力を
よろしくお願いいたします。

TIFA ネパールプロジェクト後援会

年会費: 一口 5000円より
一般寄付: 随時(金額は自由です)
送り先: 郵便振替
口座番号 00950-5-140680
加入者名 TIFAネパールプロジェクト



特定非営利活動法人 国際交流の会とよなか 2010年5月 発行

地域と世界をつなぎましょう

国際交流の会とよなか(TIFA)は、地域に住む外国人たちとともに生きやすい社会を目指して
活動を続け、今年25周年を迎えます。いろいろな国から来た人たちが、地域の生活になじみ、
互いに文化を学びあい、良さを認め合って、より豊かな社会にしたいと思います。また地域の活動
から発展して、グローバルな視点で、ネパールやフィリピンやタイの人たちともつながり、国際的
な相互理解・協力を深める活動をしています。一緒に活動しましょう!! (代表 葛西 芙紗)

外国人の
ための

TIFA では2007年度より文化庁からの委託を受け、「生活者としての外国人」の
ための日本語講座を開いています。現在実施している講座をご紹介します。

日本語指導者養成講座



毎週月曜の朝、豊中駅前の「グローバルとよなか」に
さまざまな国から来た人たちが集まってきました。

この講座の最大の特徴は、学習者も指導者も外国人
ということ。日本語の学習者だったところの経験、日本語
のユーザーとしての経験、日本で生活する外国人と
しての経験を背景に、外国人ならではの視点から参加
者の日本語のニーズを理解しようというのがこの講座
の出発点。実生活の買い物や子育て、健康などを学習
テーマに取り上げることにより、日本語能力の向上と
平行して、日常生活力も身につけることができるよう
工夫しています。この点に魅力を感じて、子育て中
の若いお母さんが多く参加しています。

ここで育った人たちが、次は指導者として後輩の外国
人に知識と経験を伝えていく— そのような温かいサイ
クルができつつあるようです。(サマンティカ)

高校生のための日本語講座

2009年度、初めての試みとして、日本語を母国語とし
ない高校生のための日本語連続講座を3回(夏休み、冬
休み、春休み)に行いました。このプログラムでは、学校
の授業に必要な日本語に加えて、「生活者としての日本
語」を学ぶことも目的です。日本の地理や社会をやさしい
日本語で学んだり「住まいのミュージアム」を見学するな
ど、体験を通じて日本の歴史や文化を学びました。

いろいろな国から来ている高校生たちが、このクラス
に参加することで、交流が生まれ、仲間が広がってい
ったこと。また、安心して日本語が話せる居場所になっ
たことも大きな収穫でした。2010年度も同様に、体験を通じて
楽しく学べるプログラムを考えています。(村上)



最後の授業で一人ずつ
体験談を発表しました



住まいのミュージアムにて

TIFA では上記の他、日中働いて
いる人を対象とした夜間の日本
語クラスも開いています。和気あ
いあいとした雰囲気の中、受講生
のニーズに合わせたサポートを
心がけています。



TIFA グローバルサロン

私の歩いてきた道 ～韓国と日本に住んで思うこと～

2月14日(日) くらしかんイベントホールにて

お話: 鄭 聖汝 (ちよん そんよん) さん



TIFAでは、地域在住の、様々な文化を持つ人々と協力して、気軽に参加できるサロンやセミナーを開催しています。「こんなテーマのセミナーを開いてほしい」「この国の話を聞きたい」などの要望もお寄せください。

阪大文学部博士課程の中国人留学生から「韓国人の素晴らしい先生がいらっしやる。留学生は皆この先生が大好き」という話を聞き、ぜひグローバルサロンに来ていただくようお願いし、実現しました。韓国で高校の日本語教師をされていた鄭さんは、周囲の反対を押し切って三十代後半で神戸大学の著名な言語学の教授のもとに留学。猛勉強をして学位を取得され、大阪大学に就職し、現在は文学部の留学生の日本語指導にあたっておられます。留学生は、基礎的な勉強のために来たにもかかわらず研究者のように扱われ、最初からバックに陥る人が多いそうです。その上、ビザや奨学金の問題もあり、在籍中に学位を取得しなければならぬという切羽詰った状況に置かれます。基本的な知識を吸収できていないまま論文を書かなければならず、プレッシャーからノイローゼになる学生も少なくないとのこと。そんな学生たちに鄭先生は的確なアドバイスをされています。例えば、大きなテーマに立ち向かってもがいている学生には、まず目の前の、手の届く小さな部分から一つ一つついでいくことを教えられます。 「留学してよかった」と考えるための手助けを全身全霊でされている鄭先生。「自分自身が留学生だったので、彼らの気持ちがよくわかるんです」笑顔が輝いて素敵です。鄭先生に出会えた留学生は幸せですね! (田坂)

TIFA グローバルサロン

ミハエル君のドイツのはなし

ドイツはいかに過去の戦争と向き合ってきたか

2月27日(土) くらしかんイベントホールにて

お話: ミハエル・デメルさん

昨年10月から豊中で暮らしているミハエル君は、ドイツの高校を出たばかりの19歳。兵役につく代わりに、日本で社会奉仕活動をしています。(兵役を拒否する権利はドイツ憲法で認められています)



TIFA グローバルサロンで彼が選んだテーマは、ドイツの戦後の平和政策と平和教育について。映像をふんだんに使った、英語での発表でした。(通訳あり)

ドイツでは敗戦後も20年あまり、元ナチスの要員が社会の至る所で活躍していましたが、国民の力で政権交代させ、「集団殺害に時効なし」という法律を実現。ドイツ社会からナチ勢力を一掃するために全力を上げました。また、極右勢力の再燃を阻止するため、ドイツでは市民による平和運動や学校での徹底した平和教育など、歴史を逆戻りさせないためのたゆまぬ努力がなされています。

スピーチの中身もさることながら、19歳の若者が自国の現代史について堂々とプレゼンテーションする姿に驚きました。歴史教育の大切さ、特に戦争や平和について次世代に伝えていく大人の責任を痛感しました。

ミハエル君は今年の9月末まで豊中の幼稚園や小中学校で働く予定です。(筒井)



市民ネットセミナー

アフガニスタンの現況を語る

ジャーナリストとアフガン女性それぞれの視点より

4月3日(土) とよなか国際交流センターにて

お話: 西谷文和さん、カトール・アルミザダさん

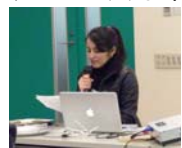
豊中で活動する国際交流団体のネットワーク「国際交流市民ネットとよなか」が主催。

まず、フリージャーナリストの西谷さんより、避難民キャンプや病院で苦しい日々を送っている子どもたちの姿が映像で紹介されました。「タリバンが1人か2人いるかもしれないというだけで村全体を空爆していいのか」そしてこれを「正しい戦争」と言うオバマ大統領にノーベル平和賞。西谷さんの怒りが聞かれました。



カトールさんは栄養学を学ぶために5年前に来日。今のアフガニスタンで女性や子どもたちが直面している深刻な状況を訴えました。戦争で亡くなる兵士より病気で栄養不良で亡くなる女性や子どもの数のほうがはるかに多い。また、女子教育を認めず、女性への暴力も野放しにしているタリバンの下では女性は幸せにはなれない、と。

「報道されないアフガン戦争の現実を一人でも多くの人に伝えたい」と語る西谷さん。「母国の子どもたちの教育に役立ちたい」と希望をもつカトールさん。「アフガン人は平和を愛する日本人を尊敬しています」その期待を裏切るわけにはいきません。私たちがグローバルな視点で草の根の活動を続けていこう、との思いを共有しました。(奥田)



好きなことや得意なことを生かして TIFA の活動に参加しませんか?

下記以外に、日本・タイ青少年交流や国際交流フェスティバルなどのイベントも行っています。

グローバルサロン

地域に住む外国人や留学生の方をゲストに迎え、母国の文化や生活の話、日本人から海外生活の体験談などを聞きます。視野が広がり異文化理解のきっかけになればと思います。初めて国際交流を体験したいという方にも気軽に参加していただけるプログラムです。

国際理解教育

これからの国際社会を担う次世代を育てる活動です。在住外国人と協力して学校等で国際理解講座を開くほか、夏休みには小中学生対象の「TIFA国際子どもキャンプ」を2泊3日で開催しています。

ワールドクッカー

在住外国人や留学生を講師に迎え、自国の家庭料理を教えます。皆で一緒に作り、試食しながらお国の話を聞きます。美味しくするための、楽しい活動です。



バザーアレンジ

「生活必需品を安く入手したい」という留学生や在住外国人の要望に応じてバザーを開催しています。資源のリユースという点でも有意義な活動ですが、保管場所や運搬などで苦労しています。ご協力ください!

地球環境

地球環境問題が世界共通の課題として避けて通れないという考えから、グローバルな視点で学び、身近な所で活動しています。毎月第3日曜日の「環境井戸端会議」は気軽な集まりです。ぜひお越しください!

TIFA セミナー

世界の動きを知り、グローバルな視点をもつための勉強会や講演会を企画しています。マスコミでは知ることのできない現実を、実際に体験した人から直接聞くことができる機会をつくりたいと思っています。



WELCOME!

いつもにぎやかな TIFA オフィス

ネパール

ネパールの田舎シズリ地方で1994年より女性と子どもの自立支援活動をしています。1999年に開設した「子どもの家」は、紛争などで孤児になった女の子たちが共同生活する場として現地のNGOとともに運営しています。カトマンズ近郊の子どもの教育支援活動も始めました。後援会員募集中!(裏面をご覧ください)

アフガニスタン

昨年スタートした新しいプロジェクトです。アフガニスタンの女性や子どもたちは、出口の見えない混乱の中できびしい生活を強いられています。今、私たちは何をすべきなのか。何ができるのか。まず話を聞き、学び、考えていきたいと思っています。

多文化子育てサロン

近隣の子育て中の外国人親子の支援を主目的に活動しています。月2回(第1・3木曜)のサロンでは、勉強会や健康相談などのほか、手芸、料理、ハイキングなど、楽しく遊び学んでいます。



ホストファミリー

ホストファミリープロジェクトでは、主に大阪大学の留学生を毎年20名前後、留学生センターからの依頼で引き受けています。また海外からのゲストの受け入れも積極的に行っており、交流を深めています。基本的にホームステイはしておりません。留学生の滞在年数は半年〜とさまざまですが、語学力よりも異なる文化への好奇心とホスピタリティがあれば、お互いの理解も深まり心も通じ合えます。ホストファミリーの受け入れに興味のある方はぜひ一度参加してみてください。

